

スタディグループ (SG6) : 自然界に見られる大きさと時間を見比べる

参加教員

小山時隆 准教授

生物科学

市川正敏 講師

物理学・宇宙物理

松本剛 助教

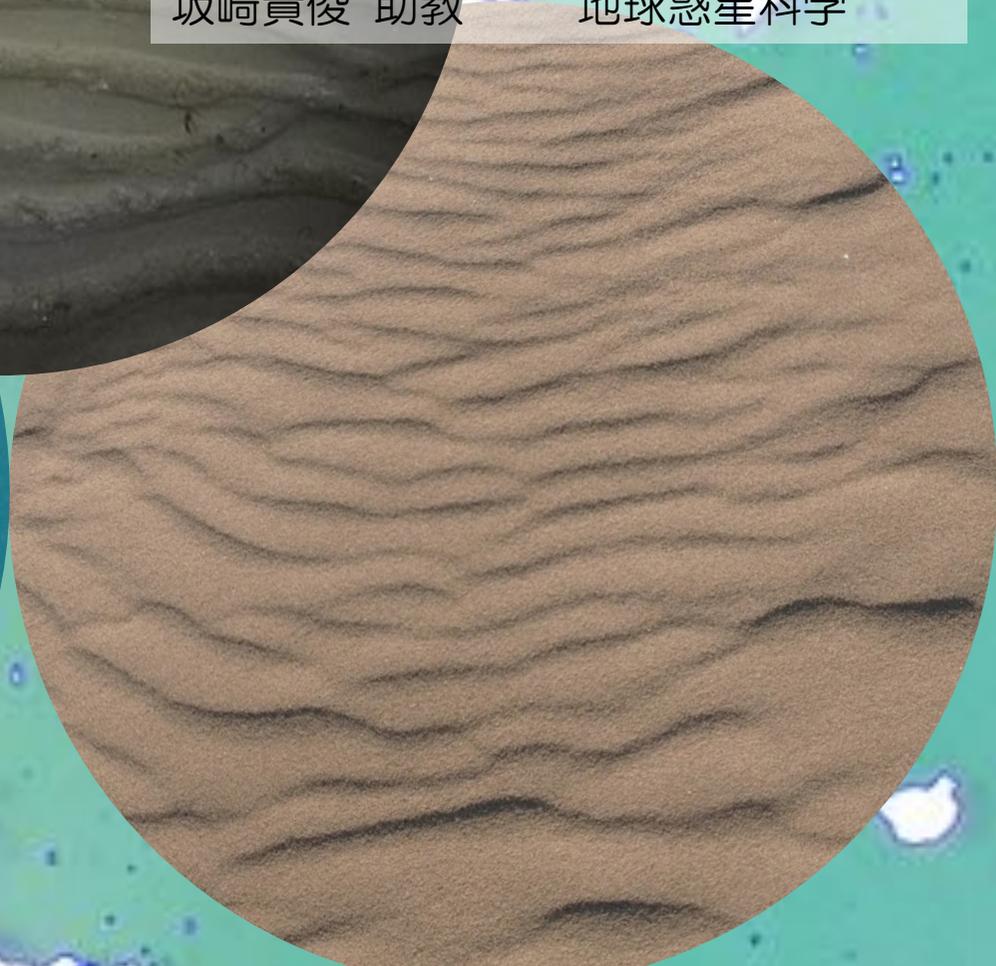
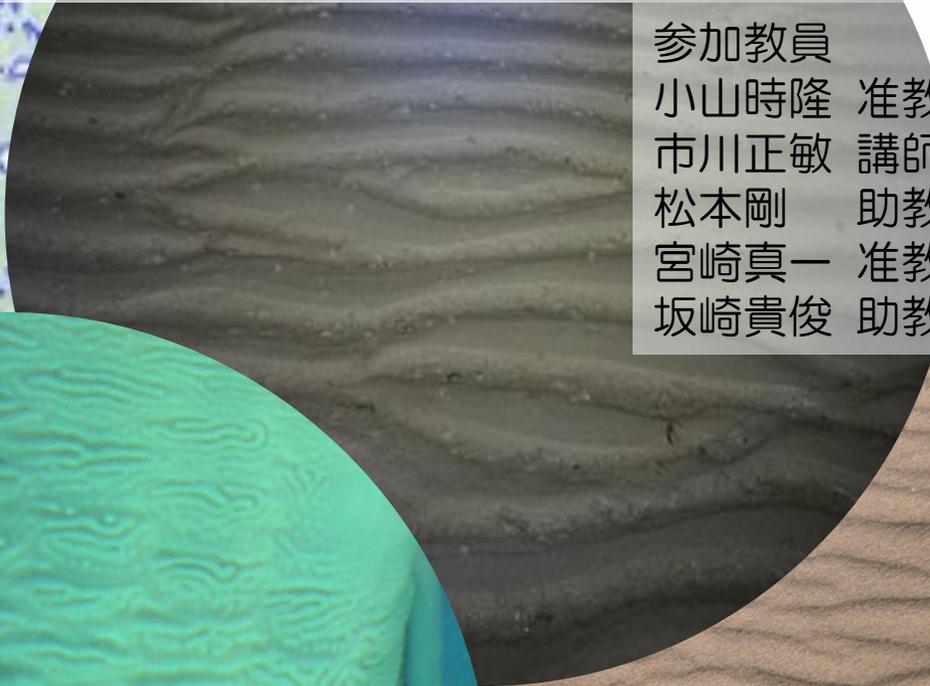
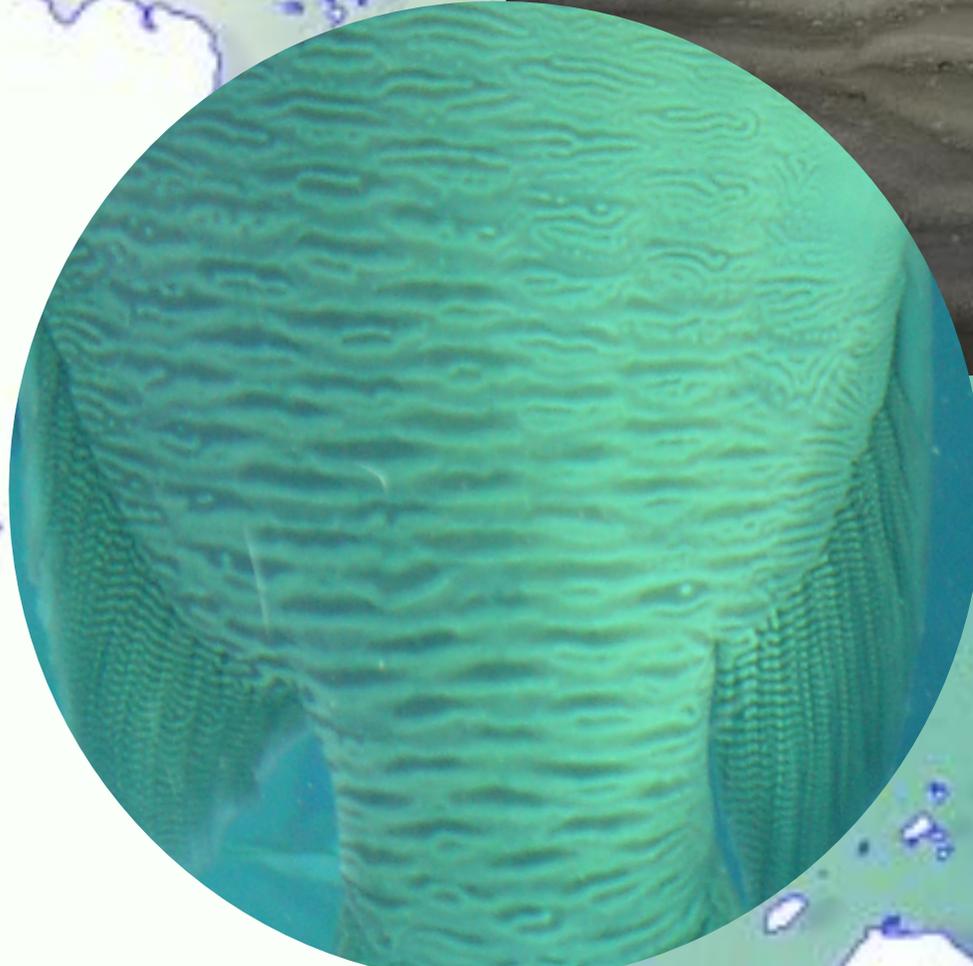
物理学・宇宙物理

宮崎真一 准教授

地球惑星科学

坂崎貴俊 助教

地球惑星科学



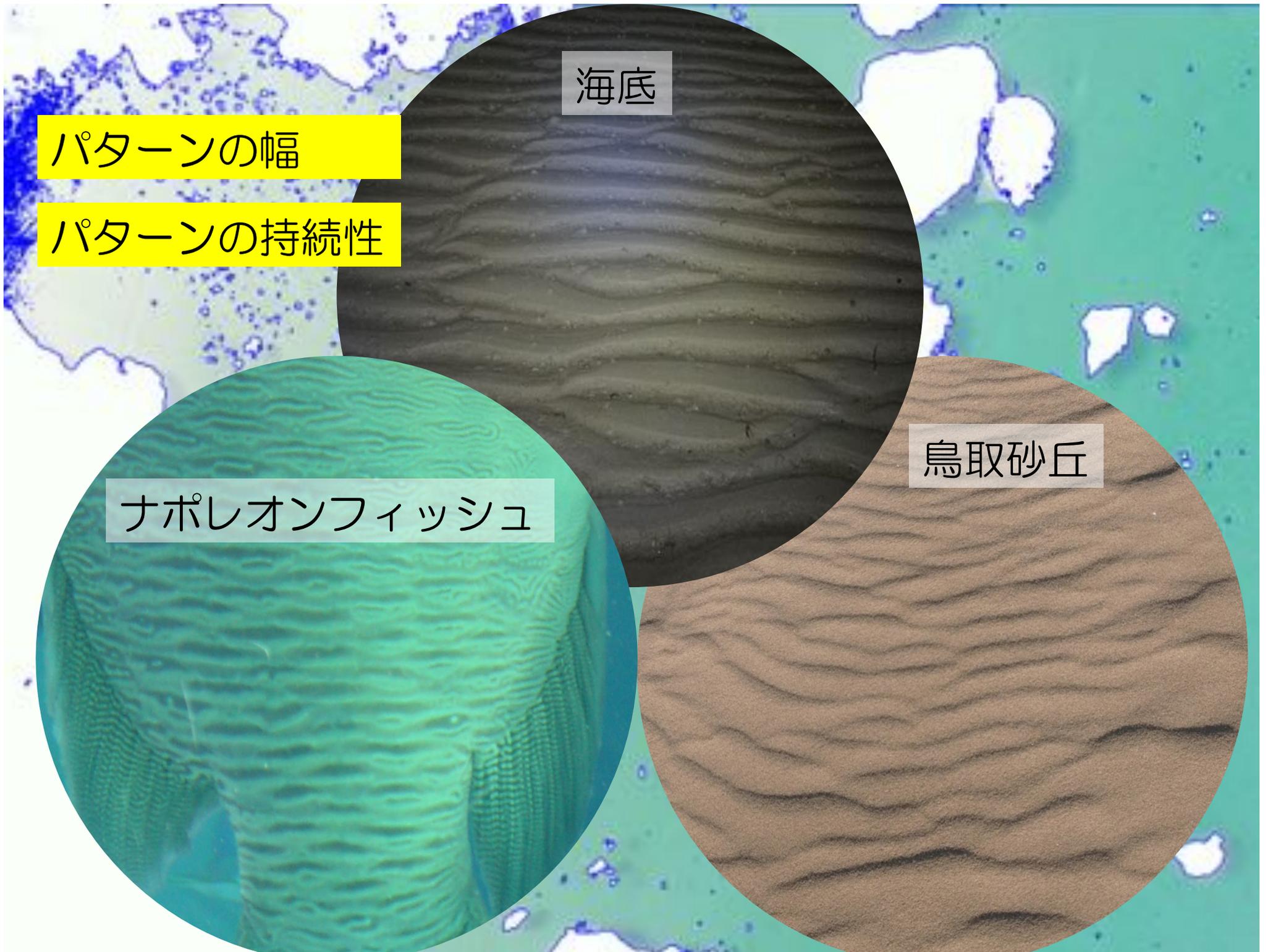
海底

パターンの幅

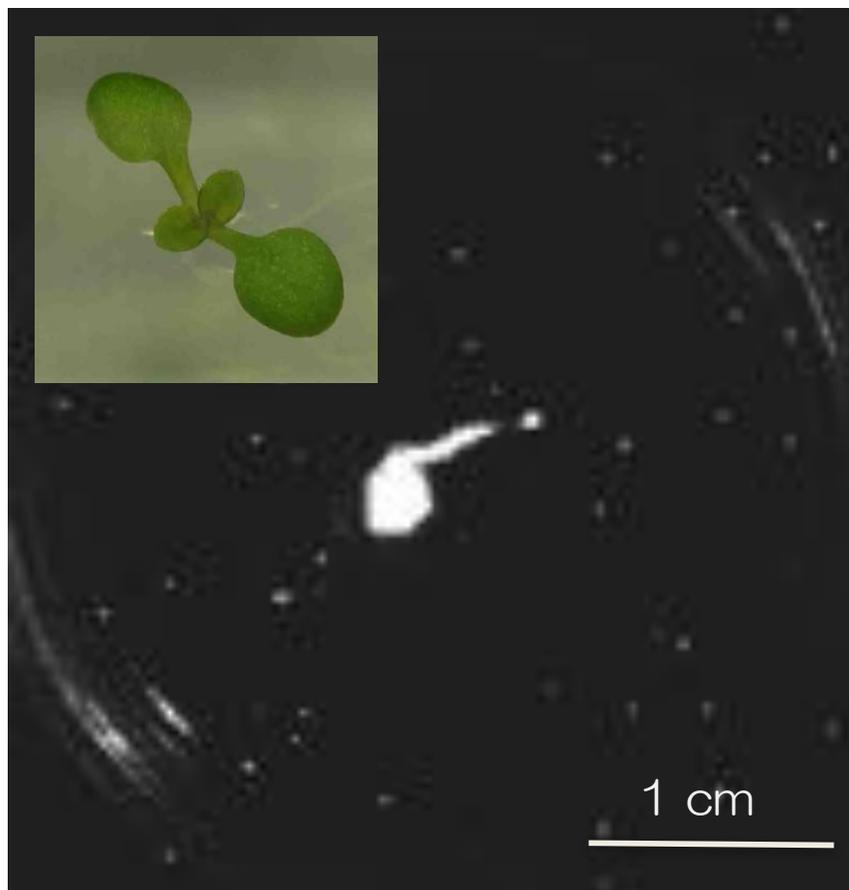
パターンの持続性

ナポレオンフィッシュ

鳥取砂丘

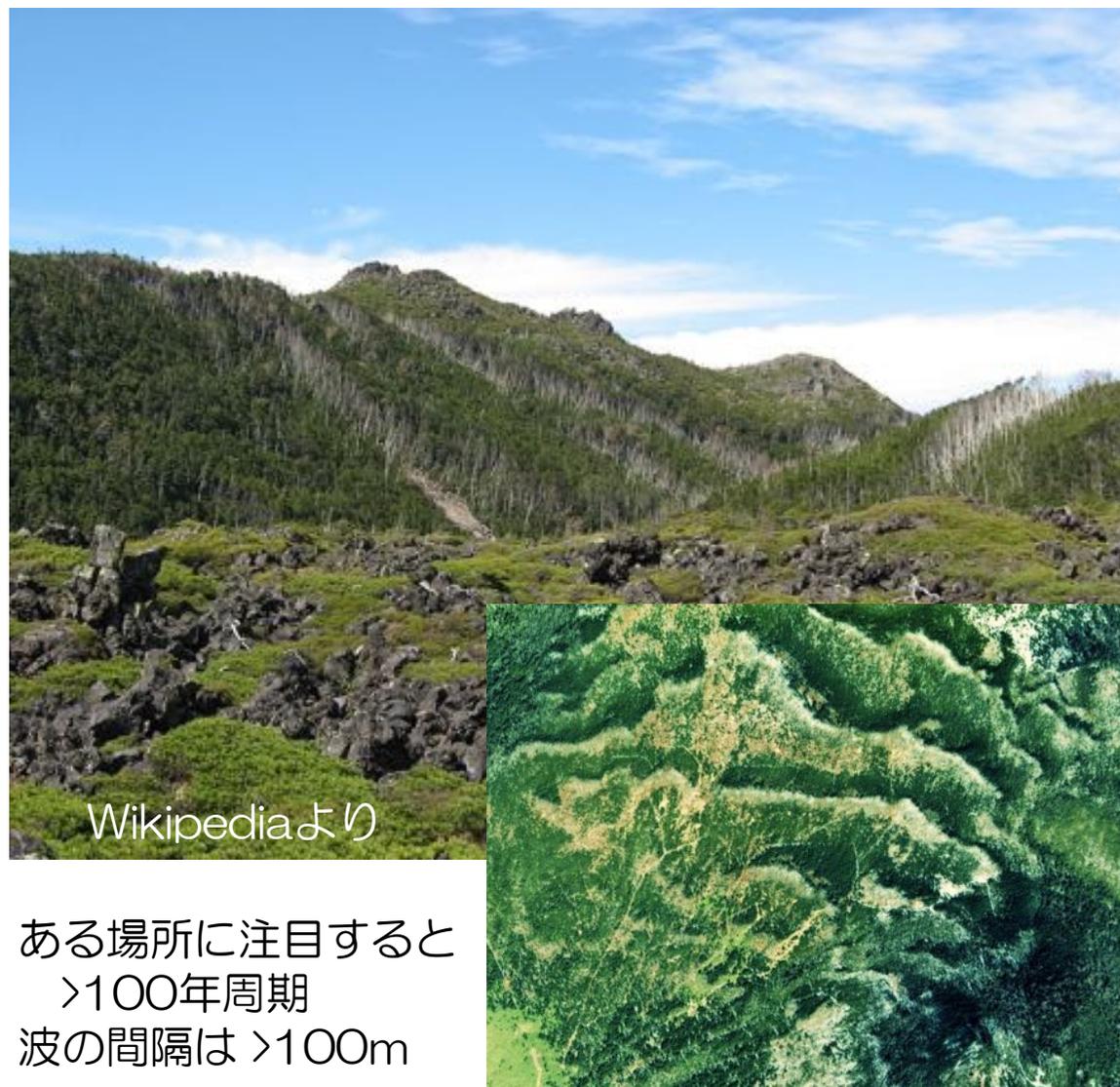


時計遺伝子発現に見られる移動波（動画）



ある場所に注目すると、1日周期
波の間隔は1日の伸長量（~数ミリ）

北ハケ岳山系にみられる縞枯現象（移動波）



ある場所に注目すると
>100年周期
波の間隔は >100m

スタディグループ (SG6) :

自然界に見られる大きさと時間を見比べる

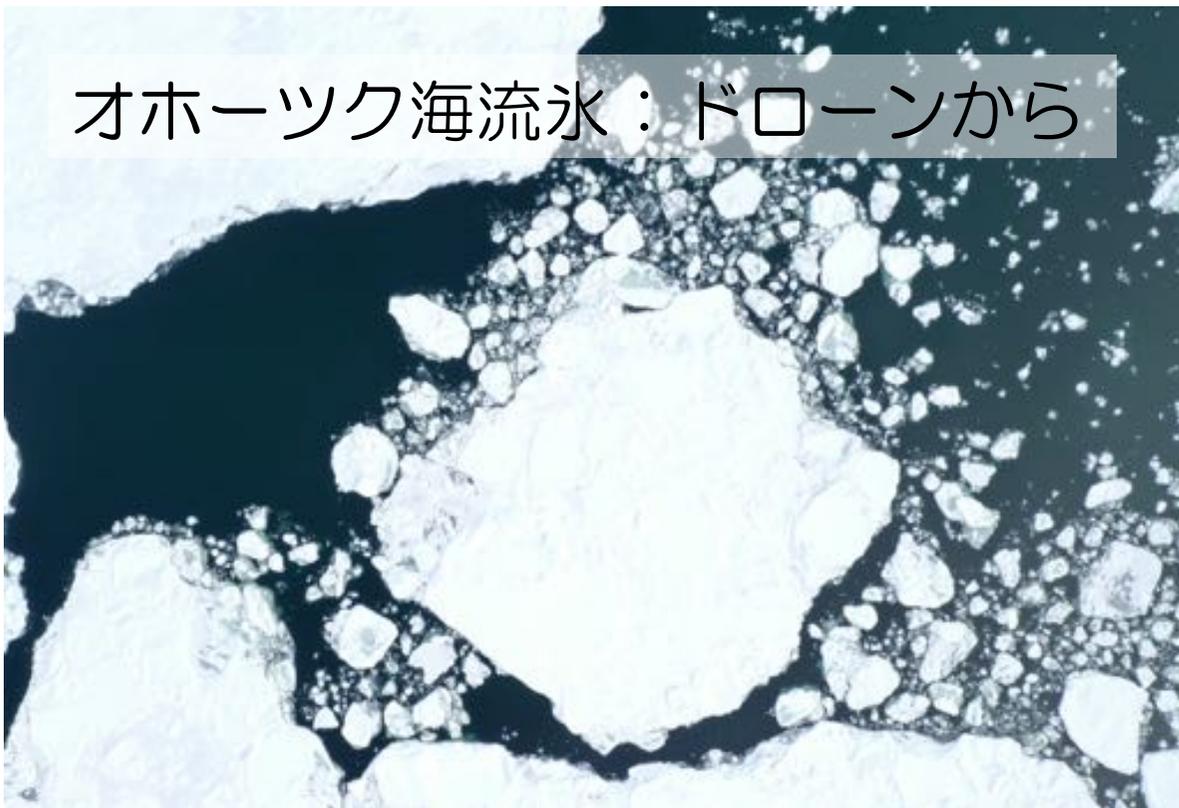
- 対象：生物／非生物に限らず動的なもの／こと
- 視点：大きさ・時間を相対的に捉えてみる
- ゴール：自然界の現象・メカニズムの新たな関連性を想像／創造する。

過去の関連SG

- 2019年：動的な秩序の発展を追う（松本）
- 2018年：数理で探求する生命現象の新たな描像（市川）
- 2017年：振動／運動でつなぐ生命現象と数理的原理（小山）
- 2016年：生命現象に潜む階層を横断する数理原理の探求（藤）

野外での自然観測や他大学との実地での研究交流
を取り入れてきた
>>ドローン使用

オホーツク海流氷：ドローンから



鳥取砂丘：ドローンから



実施計画

- 参加教員／講師によるテーマ紹介・話題提供
- 参加学生による議論／問題解決
- その他、自主的勉強会、成果まとめなど

- 2～3週に一度
- 学内でドローン操作／樹木観察（許可次第）

- 積み上げの的・体系的な内容にはしません。
- 各参加者が自身の研究への新たな気づきの場にしたい。